

第34回国際燃焼シンポジウム 参加報告



久富康博
廣瀬勉
前田敬之

国際燃焼シンポジウムとは

国際燃焼シンポジウムとは、燃焼に関する世界中の研究者が一同に集まる学会です！！

第34回の今年は、ポーランドの首都ワルシャワにあるワルシャワ工科大学で行われました。



2012/07/30 ~ 8/3 @ Warsaw University of Technology

ワルシャワ(ポーランド)までの道のり(1)

山口宇部→羽田(飛行機で約1.5時間)
羽田→成田(バスで約2時間)



成田空港に初めていきました。
入港に身分証が必要なことに
驚きました。

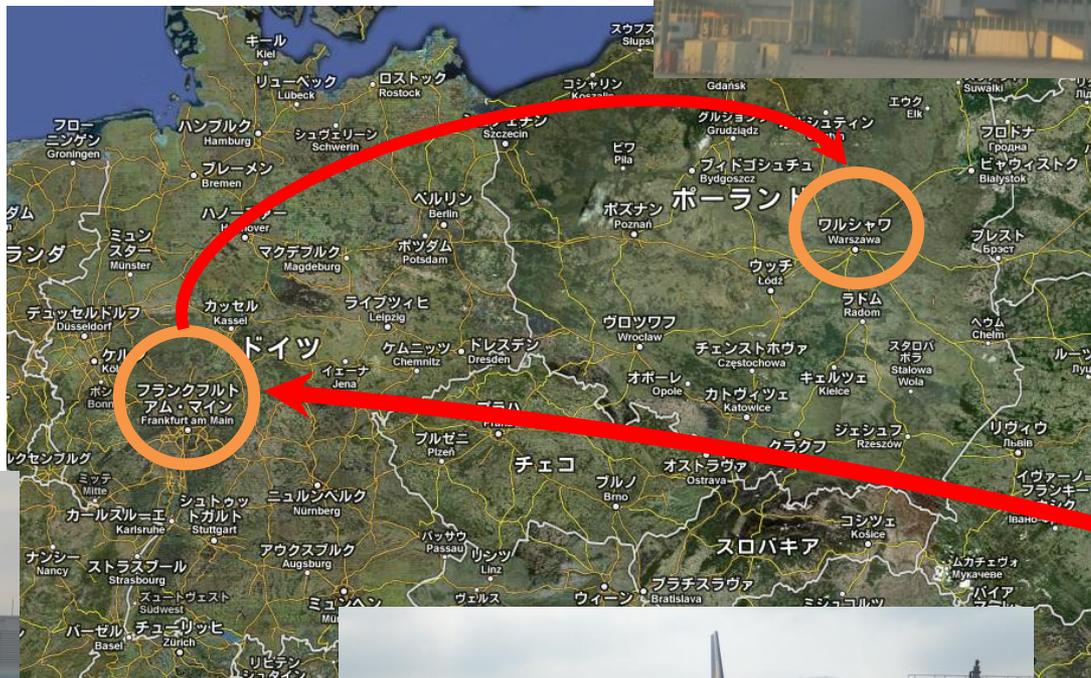
ワルシャワ(ポーランド)までの道のり(2)

成田→フランクフルト

(飛行機で約12時間)

フランクフルト→ワルシャワ

(飛行機で約2時間)



ワルシャワへの移動中での出来事(1)

いきなり出発地である山口宇部空港で事件が起こった

財布がない！！

宇部空港(飛行機内)にて



一人いない・・・(久富撮影)

成田のホテル近くにて



飛行機を一旦遅れらせ、別行動で参上

ワルシャワへの移動中での出来事(2)

フランクフルト空港



こんな新聞の広告??もありました



ピカチュウ発見!!



空港内は搭乗口が多くあり、世界のハブ空港の大きさに圧倒されました！

ワルシャワへの移動中での出来事(3)

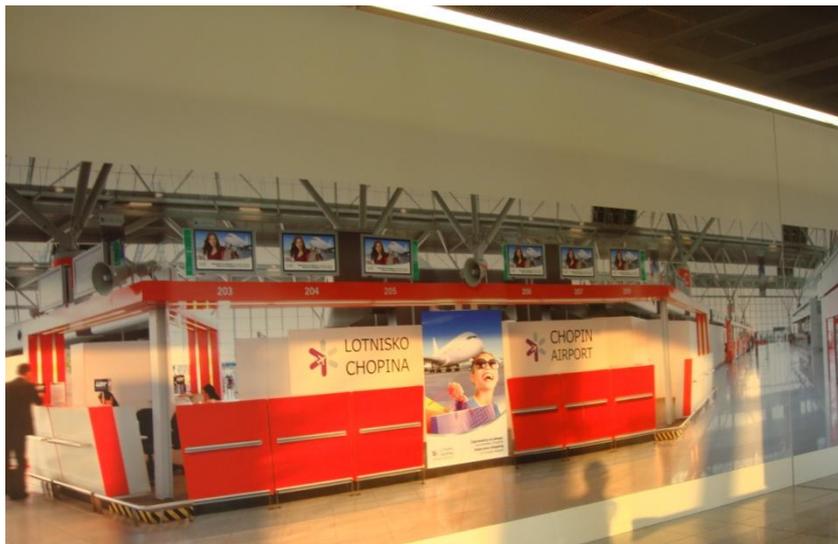


フランクフルト空港で軽食を取りました。
ドイツビールとソーセージ、ザワークラウトと
いう料理をいただきました。

ザワークラウトの味はキャベツ
の酸っぱい奴です！



ワルシャワへの移動中での出来事(4)



ワルシャワ・フレデリック・ショパン空港



ワルシャワ空港からバスでホテルへ(約30分)



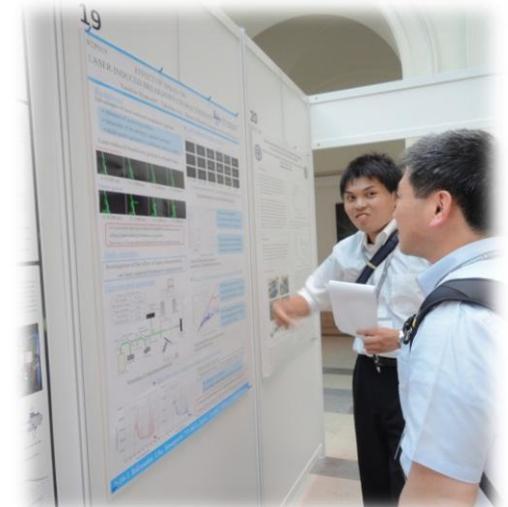
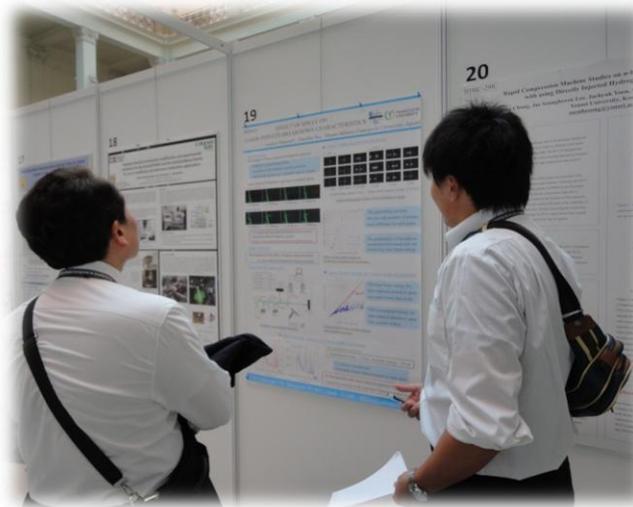
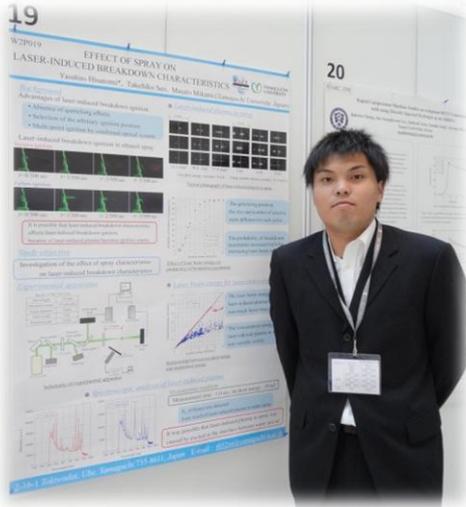
ノボテルホテル



部屋からの景色

無事にホテルに現地の20時くらい到着し、その日は疲れのせいか爆睡してました。
部屋からの眺めは、すごく良かったです

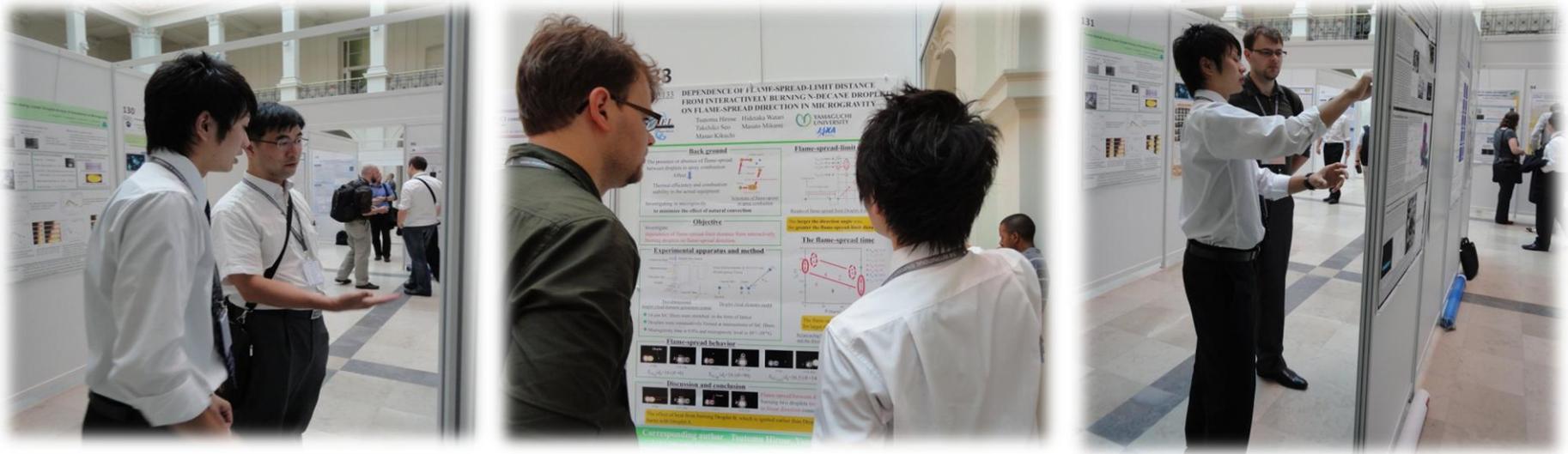
Poster presentation -1(久富)



私は“**EFFECT OF SPRAY ON LASER-INDUCED BREAKDOWN CHARACTERISTICS**”という題目で噴霧中におけるレーザーブレイクダウンについての発表を行いました。午前中は3人の外国の学生とディスカッションを行い、中でもブラジルの大学の学生と仲良くなれました。午後は著名な先生方がポスターを見てくださり、ディスカッションを通じてアドバイスなどをいただき、自身の研究に関する知識を改めて深めることができました。

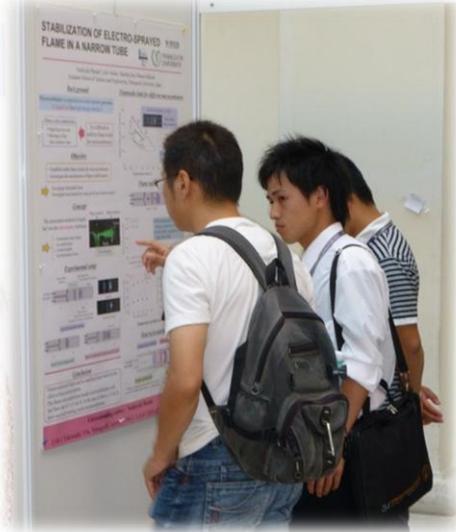
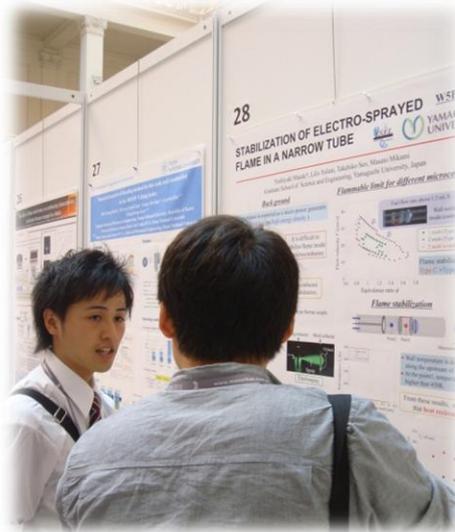
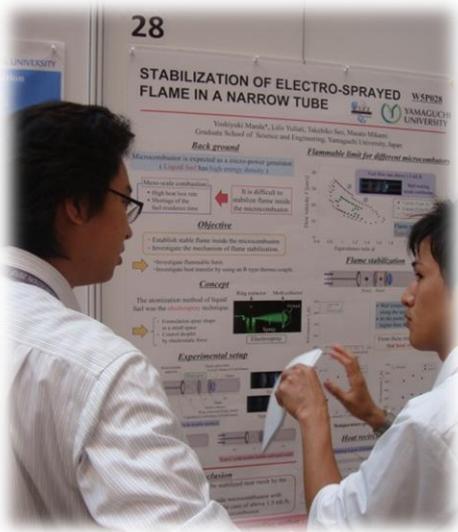
また、空き時間に他の発表者のポスターを見て回りました。質問をしたり、ポスターの構成や見やすさなどを自身のポスターと比較したりするなど、今後のスライド作りのための勉強になりました。

Poster presentation -2 (廣瀬)



私は、「**Dependence of flame-spread-limit distance from interactively burning n-decane droplets on flame-spread direction in microgravity**」という微小重力環境を利用した燃料液滴の燃え広がりについて発表を行いました。私の研究は、実験的に調査したものであり、実験結果や考察に加えて実験方法や背景についても海外の研究者とディスカッションをすることができました。普段から行っている研究室内での英語を用いたディスカッションを活かし、海外の研究者と議論を深めることができました。また、他のポスター発表に対して質問をすることで、様々な研究背景や実験方法を知ることができ、知識を深めることができました。

Poster presentation -3 (前田)



私は「Stabilization of electro-sprayed flame in a narrow tube」というタイトルで、液体燃料を用いたマイクロコンバスタのポスター発表を行いました。初めは自身のポスターを見てもすぐに去ってしまう人がいましたが、見ている人にすぐに近づき話しかけることで質問を受けたり、ディスカッションをすることができました。また、会場にはたくさんのポスター発表者がいました。他の研究者のポスターを見て回り、質問をしました。質問をした後、「私のポスターも見てください。」と声をかけることでより多くの人に自身のポスターを見てもらい、ディスカッションをすることができました。（この方法は三上先生に教わりました。）

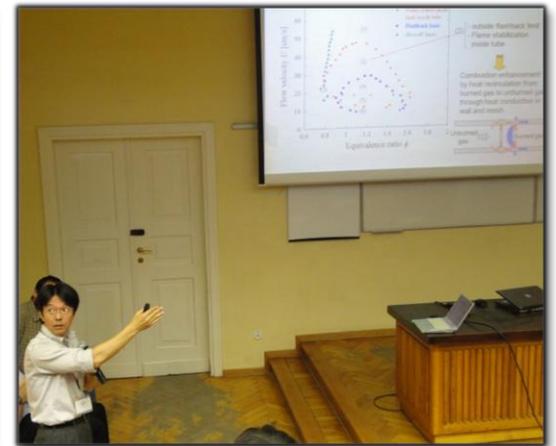
Oral presentation



発表の様子



質疑応答の様子



三上先生の発表題目は
「Combustion of gaseous and liquid fuels in meso-scale tubes with wire mesh」
という、マイクロコンバスタについての発表でした。発表が分かりやすく、海外の研究者の方から多くの質問を受けていました。

三上先生，発表お疲れさまでした！！



座長を務められている様子

学会1日目の午後に、「Droplet Combustion in Micro-Gravity」というセッションで三上先生が座長を務められました。このセッションの発表者は4人中3人が日本の先生であり、微小重力環境を利用した実験的な研究が多かったです。また、三上先生の的確な質問により、活発な議論が行われました。

Social events -1

~ Chopin concert ~



ポーランドに關係しているChopinの曲が演奏されました。

学会発表での疲れを癒すChopinの曲に三上先生もすっかり癒されたようです。

ちなみに、今回演奏された曲が収録されているCDもしっかり購入しました！！

Social events -2

~ Picnic ~

世界中の燃焼に関する研究者が集まり、お酒を酌み交わしながら議論していました。



三上先生の発表を聞いて、是非話がしたいと
いって来られた海外の学生の方との2ショットです。



丸太切りなどの催し物が用意されており、
楽しむことができました！！

Social events -2

~ Picnic ~



映画に出てきそうな田園風景のなかで、
楽しい時間を過ごしました

Social events -3

~ Banquet ~



世界各国の有名な研究者の方に囲まれ、緊張しながらのディナーでした。英語が飛び交う中必死に耳を傾けながら、自身の英語力のなさを痛感しました。

料理はどれも手が込んでいて、とても美味しかったです！！



今回の国際燃焼シンポジウムでは、世界中の研究者と英語を用いたディスカッションを行い議論を深めることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、他国の料理や街並み、現地の人との交流を通して日本と違った文化を肌で感じることもできました。